

建設人・九条の会通信 No.3 ピース・コンストラクション

発行日 2006/11/1
連絡先・渋谷区 代々木2-18-4
東京土建会館内・建設政策研究所内
建設人・九条の会
TEL03-3299-8720

安倍新内閣の改憲準備、集団的自衛権行使の動きに「九条の会」の結成・拡大で応えよう!

9月29日、総裁選で改憲公約を掲げた安倍氏を首班とする内閣がスタートしました。

首相は、初心表明演説で、憲法改正手続法の早期成立に期待するとともに、日米同盟

に基づく、軍事行動において、何が「憲法で禁止されている集団的自衛権の越に該当する

安倍内閣が誕生して一ヶ月が経ちました。

きた通り、安倍政権は改憲を具体化する政権となる危険が強まっています。

安倍首相は、先の総裁選における政権公約で、憲法九条を最大のターゲットに「五年をめどに改憲を実現する」と明言しました。

安倍首相は、改憲を「日本の本来の姿、理想を書くということ」などと美化していま

もに強行しようとしています。まさに憲法・教育基本法を一体のものとしてわが国の進路を危うくする悪政が進行しよう

改憲・教育基本法改悪の安倍政権

さらに「国会で三分の二の合意の目安がついてくれば前倒ししていくことも考えなければならぬ」と執念を燃やしています。

これまでも「次の内閣は憲法改正を取り上げる初めての内閣になる」と（『安倍晋三対論集』）と自身が語って

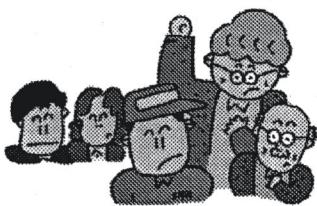
すが、真の狙いは、イラク戦争で証明されている通り、無法な先制攻撃戦略をとるアメリカとともに、日本を「海外で戦争する国にする」ことは明らかです。

こうした「国策」に従う人

のか、個別具体的な例に即し、よく研究して「いく」と述べ、従来の集団的自衛権についての政府解釈の変更をめざす考えを示しました。

政府は「集団的自衛権を有しない」とする政府見解を守れ

集団的自衛権は、「自国と密接な関係にある外国に対する武力行使を自国が直接攻撃されていない状況で、実力を持って阻止する権利」のことです。憲法九条の存在の下で、集団的自衛権を有しないことは、従来からの政府見解です。安倍氏の集団的自衛権についての解釈改憲は、①



弾道ミサイル防衛における米本土に向かうミサイルの撃墜、② 海上の米軍

艦艇の防衛、③ イラクで英豪軍の救出などを可能とするための議論です（小沢隆一「新政権下での改憲の動きと集団的自衛権」九条の会HP）。

九条の会を広げよう

このような動きは、憲法九条を空文化し、国民投票の手続き以前に葬り去ろうとするものです。また、それ自体、明文改憲への地ならしです。ただちに国民的な反撃をしていく必要があります。

九条の会を、職場、地方の建設人の間に広げ、横の連携を作り上げていくことを呼びかけます。

憲法を九条を守る

建設関係学習交流集会

※日時 十一月二十九日（水）

一八時三〇分〜

※会場 エデユカス東京

（有楽町線麹町駅下車徒歩

一分・旧日本テレビ前）

※学習テーマ（仮題）

「北朝鮮核問題と憲法九条」

Ⅱ 改憲につながる国民投票法案Ⅱについて

※講師 新原昭治氏

（軍事問題研究者）

※会費無料

主催 建設人・九条の会

職場から、地域から

平和運動と原水爆禁止世界大会の体験

— 神奈川土建一般労働組合・青年部 —

神奈川土建青年部では、昨年度十二回に分けて、執行委員会前の三十分を使って、神奈川学習協会の協力で「憲法問題」について学習してきました。

平和憲法は宝であり、決して変えさせてはいけないことを学び、二月九日に、「神奈川土建青年部九条の会」を立ち上げました。

六月、「東海村原子力空母母港化に反対する7・9横須賀3万人集会」に「W E LOVE P E ACE」とロゴの入った揃いのベストを百枚作って参加しました。



7・9横須賀3万人集会

八月、平和運動を強めながら十七人の青年が原水爆禁止世界大会に参加しました。僕は、初めての参加でしたが、青年部を代表して参加させていだき、本当に良かったと思っ

第一三回全国建設研究・交流集会迫る
十一月九日〜二十日
熱海市・後楽園ホテル
二日目の二〇日、第八分科会（憲法九条と建設労働者）で「建設分野で憲法九条を守る輪をさらに大きく」するための経験交流、議論が行われます。ぜひご参加ください。

います。大会では、被爆者の声を聞く分科会に参加しました。実際の体験を直接聞くことがいっばいになりました。最後にテレビも見ましたが、メディアはダメですね。

靖国参拝はマズイ

十三日、遊就館に彼女といってきたが、広島資料館とまったく違う。小泉首相の靖国参拝はマズイと思いました。

神奈川県に原子力空母が来るということにもリアルな体験を通じて「絶対に反対したほうがいい」と断言できます。青年の皆さん、原水爆禁止世界大会に参加してください。僕と同じように変わります。

神奈川土建青年部長

加藤勇二(25・大工)

九条の会・建築とまちづくりネットワーク

「三枚目を作りましょうよ！」七月の集会で完成した二枚のタペストリーを前に、参加者から声が上がりました。三十センチ角の布に九条と

平和への思いを表し、縫い合わせたメッセージタペストリーづくりは、四月から取り組みこの日初めてのお披露目でした。各人から布に込めた思いが語られ「人の数だけ思いがある。でも平和への思いは一緒」と強く感じた集会でした。

会員八十五名、若い人も

私たちの九条の会は、主に建築やまちづくりに関わる人達が参加し、昨年十一月に発足しました。発足会では、ジャン・ユンカーマン監督「映画・日本国憲法」を見て、平和への



メッセージタペストリー

の思いと取組みのイメージを語り合いました。現在会員は約八十五名。タペストリーづくり等を通じて少しずつ若い会員が増えてきました。

九条の尊さを

「建築とまちづくりネットワーク」の名前のように、各人がやっている九条を守る運動をネットワークでつなげながら、大きな力にしていきたいですし、「建設人・九条の会」等とのネットワークを持ち、九条を守る世論を大きくしていきたいと思っています。

なかなか顔を合わせて取り組めないのが悩みですが、メールリングリストや、会員に参加意識を持ってもらえるような取り組みをこれからもやっていきたいです。

「草の根」の運動として、自分の身近にいる建築とまちづくりに携わる人たちに「九条の尊さ」を語りかけていく大切さを実感するこの頃です。

(文責・高田桂子)